

備前市事務事業評価表

事務事業名	体育施設管理運営事業（日生）		コード	03-02-06-05
			担当課・係	市民スポーツ課(日生)・体育振興係
			担当者	岡崎弘子
			電話	72-1006
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり		
	小項目(施策)	スポーツ・レクリエーション		

事業について	
目的 (何のために)	日生運動公園等に指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウや活力をいかながら、利用される皆様へのサービスの向上を図るとともに、管理運営経費の節減を図る
対象 (誰・何を対象に)	施設利用者
内容	日生運動公園・浜山運動公園・日生武道場・ヘルスパ日生 施設維持管理・運営管理委託

事業の結果								
実施項目	17年度				18年度			
	回数など (単位)				回数など (単位)			
体育施設利用者	45,163 人				34,846 人			
運動公園利用者	90,801 人				74,406 人			
事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	17,528	国庫補助金等	直接事業費	34,000	国庫補助金等		
	人件費		受益者負担	人件費	785	受益者負担		
			市債			市債		
	合計	17,528	一般財源等	17,528	合計	34,785	一般財源等	34,785

必要人員	0.15 人	
結果指標	体育施設利用者	
結果指標名	体育施設利用者	体育施設利用者
結果指標量	45,163	34,846
単位	人	人
対前年比	-	77.16%
活動にかかるコスト	円	円
単位当たりコスト	円	円
結果指標	運動公園利用者数	
結果指標名	運動公園利用者数	運動公園利用者数
結果指標量	90,801	74,406
単位	人	人
対前年比	-	81.94%
活動にかかるコスト	円	円
単位当たりコスト	円	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	日生運動公園等に指定管理者制度を導入したことにより、行政でしかねるサービスの提供を行う		
成果指標名	施設利用者数	式又は説明	日生運動公園・浜山運動公園・日生武道場・仮設G場の年間延べ利用人数
成果指標量	17年度	18年度	
	135,964	109,252	
対前年比	-	80.35%	
到達目標値	145,000	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	競技スポーツ・生涯スポーツに対応できて市民の健康維持増進を図る。競技スポーツにおいては、アーチェリー競技で毎年全日本大会を行うこととなっており、無くてはならない施設である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	指定管理者制度の導入により、開園日数は増加し、市民にとってより使いやすい施設となっている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	受益者負担額(使用料)の見直しを検討中であるが、市民の反応により再検討する準備も必要と思われる
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 指定管理者に完全に委託しているが、施設の老朽化によるハード面の改修、利用者の多様化によるソフト面の対応など、通常事務処理以外は指定管理者が独自判断できないものが多い。	
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量 50,000		結果指標量 95,000
	結果指標量 145,000		

総合評価		評価区分<A~E> A
要望・要請の多い施設で、指定管理制度の導入もできているが、ソフト面のサービス向上はそれなりにできていると思うが、ハード面が全く要望に応えられておらず、指定管理料そのものに無理があるのではないかと感じる。		

平成20年度以降の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	必要最低限の施設整備	平成20年度	利用者の増加